

(YES, NO  
評価)

- ③理解しやすくするための図表化等の処理がなされたか。
- ④主題設定の内容・方法を検討するための資料が準備できたか。

NOの場合、次のような方法が考えられる。アンケート、チェックリスト、各種教育検査、ソシオメトリー、などを用い、表、グラフ、特性要因図、度数分布図などで検討する。

(2)資料をもとに内容を検討し、主題を設定する。  
(YES, NO  
評価)

○評価内容には次のような例が上げられる。

- ①実態の分析結果が明らかになったか。
- ②主題を絞ることができたか。
- ③文献や他校の研究等を参考にしながら研究の見通しができたか。
- ④学校の現状から質的なレベル、期間、実現可能性等から適切か。
- ⑤主題が設定されたか。

NOの場合、次のような方法が考えられる。データを数値化、図表化したり、S-P表を利用して分析する。ブレインストーミング法、KJ法を用いて創意工夫をこらし検討する。④が適当でないときは③から検討しなおす。

③仮説設定に関する内容・方法を明確にする。  
(1)実態分析結果と関連する文献等の資料をもとに検討する内容・方法を明確にする。  
(YES, NO  
評価)

○評価内容には次のような例が考えられる。

- ①研究対象、範囲を明確にしたか。
- ②期待される変容を明確に示したか。
- ③具体的な資料などをもとに話し合い、創意工夫をこらし、手だてを工夫したか。
- ④文献等を参考に仮説の理論づけができたか。

NOの場合、次のような方法が考えられる。ブレインストーミング法、KJ法等を用いて特性要因図等を作ってアイデア、意見を集めまとめる。③が明確にならないときは①から検討しなおす。④が明確にならないときは②から検討しなおす。

(2)1)にもとづいて仮説設定をする。  
(YES, NO  
評価)

○評価内容には次のような例が考えられる。

上記①～④をふまえて仮説設定ができたか。